

(仮称)仙台市観光戦略2027(中間案)に関するパブリックコメント  
「仙台観光シンポジウム2024」にていただいた意見のみ抜粋

ご意見(37件)

※実施期間:令和6年11月22日~12月23日

No.	分類	観光戦略(中間案)に対する意見	仙台市の考え方
1	全体に関するご意見	口コミ獲得レースに勝つには、常設しつつも、仙台市民が仙台市内の施設を日々利用して口コミを増やすことがよいと思います。地元で愛され、日々利用していただける施設であることが必要であるように思います。仙台市民が地元で利用して、インバウンドで利用してほしい施設になることが、インバウンド需要を獲得できるのではないのでしょうか。	口コミを獲得することは、観光客の増加を図るために重要であると考えており、いつ訪れても楽しめる観光コンテンツの常設化に向けた検討を進めております。一方で、ご意見の通り、市民の皆様も当該コンテンツ・施設を利用していただき、口コミで魅力を広げていただくことも重要な視点であると考えており、市民の皆様をはじめ、多くの方々にご利用いただけるよう情報発信の強化を図ってまいります。
2	全体に関するご意見	少子高齢化社会において、交流人口の拡大だけを目指しては仙台の都市力は下がっていくものと思います。観光振興やまちづくりを契機に、定住・交流・関係人口を増やしていくことが重要と思います。	観光振興を契機に、関係人口や定住人口の拡大につなげていく視点は重要であると考えております。いただいたご意見を踏まえ、地域の観光関連事業者の皆様との連携のもと、地域の観光資源の磨き上げを図り、持続可能な観光地域を目指してまいります。
11	全体に関するご意見	ナイトコンテンツに限ると「ルールを変えて進めるべき」はまさに自治体ぐるみで必要な取り組みだと思います。	ナイトコンテンツの充実、来訪者の滞在時間延長や、宿泊に直結する重要な取り組みだと考えており、本観光戦略の中間案では、重点プロジェクト1「心弾むエモーショナル都市の創造」に位置付けています。観光関連事業者の皆様からのご意見を伺いながら、庁内横断的により良いルールを運用できるよう取り組んでまいります。
12	全体に関するご意見	トレーラーハウスの取り扱いについて、他の都道府県の都市と見解が異なり、仙台市は、建築基準法に適用するなど仙台市特有の規制があり、他の都市と比べて厳しいです。他の都市では、建築基準法の規制はないようです。仙台市特有の規制のように思います。他の都市と同等水準の規制にとどめていただくことを期待します。	規制の緩和にあたり、事業者の方々からの意見を伺い、他都市の事例を参考にしながら、見直すべき点や緩和が可能な部分について庁内横断的に検討を進めてまいります。
75	目標値の設定と達成に向けた考え方	統計的に妥当性のある効果検証は現実的には難しいと思います。市では、どのようにデータを集め、効果検証を行うのでしょうか。そもそも、その本戦略における効果の定義は何でしょうか。	本観光戦略では、宿泊者が増えることで、地域内での消費が拡大し、多方面での経済効果を期待することができるため、達成目標として、延べ宿泊者数を掲げております。また、参考となる観光関連の指標をモニタリングするとともに、各プロジェクトに基づき実施する観光施策についても、人流データやその時の宿泊者数に関するデータ、観光関連事業者の方の声などを踏まえ、検証を行いながら、観光施策に活かしてまいります。
76	目標値の設定と達成に向けた考え方	2024年度見込みの650万人泊の場合、宿泊施設の部屋の稼働率はどのくらいでしょうか。また2027年度の680万人泊達成の際の、宿泊施設の総部屋数と稼働率の見込みをお示しいただくことは可能でしょうか。	一定期間における宿泊者数を、その期間の総収容人数で除して算出した数値である、定員稼働率でお示した場合、令和5年の定員稼働率は46.5%です。680万人泊を実現するには、50%を超える定員稼働率を実現する必要があります。
83	6つの重点プロジェクト全体	戦略となっていますが、大きな方向性のみが示されいると感じます。具体的な戦術はこれから示されていくのでしょうか。	本観光戦略の6つの重点プロジェクトは、3か年の策定期間における施策の方向性を示すものとなっており、具体的な事業及び事業費の内容については、毎年度予算の中でお示してまいります。
92	重点プロジェクト0	重点プロジェクト「0」とありますが、あまり聞き慣れない表現だと思います。どういう意味・意図があるのでしょうか。	重点プロジェクト0「次代へつなぐ青葉山エリアの価値の深化」は、本観光戦略期間の3年で完結するものではなく、伊達政宗公没後400年となる2036年など、中長期的な視点を持って施策を展開していくため、他のプロジェクトとは異なる位置付けの「0」と定めています。仙台城大手門の復元、音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設の整備など、中長期的にトピックスが続く本市の文化観光の重要なエリアとして、次の世代に継承・発展させながら、誘客を図ってまいります。
103	重点プロジェクト1	来年オープン予定の国際基準を備えたスケートリンクは世界中からファンを呼び込める強力なコンテンツとなり得る。市民も巻き込んで盛り上げていけるとよい。光のページェント延長のためのCFは呼びかけ方に工夫が必要。市民の情熱にきちんと訴えられていなかった。せつかくの企画だったのにもったいない。独眼竜政宗に続く、例えば支倉常長や和久宗是などをフィーチャーした大河ドラマや、宮城を舞台とした次の朝ドラも期待する。宮城がロケ地になっている全国公開の映画は地元応援として必ず観ている。	現在整備が進められているスケートリンクは、仙台ならではの訴求力のある観光資源になり得ると認識しており、関係事業者との連携のもと、地域一体となって十分活用されるよう取り組んでまいりたいと考えております。SENDAI光のページェントにつきましては、継続に向け、ふるさと納税の活用も図っておりますが、今後も、様々な手法で支援を検討してまいります。また、重点プロジェクト0に記載のとおり、中長期的な視点のもと、大河ドラマの誘致に向けた機運醸成を図りながら、本市が誇る歴史・文化の魅力を発信してまいります。
104	重点プロジェクト1	ナイトコンテンツの拡充のために、受入施設の設備投資・改修も必要かと思えます。コンテンツを造成・拡充するとともに、受入側も発展していかなければなりません。そちらの補助や助成をお願いしたいです。	ナイトコンテンツの充実には、コンテンツの開発とともに、設備投資も必要になるものと考えており、観光関連事業者の皆様との意見交換を行いながら、その支援のあり方について検討を進めてまいります。

No.	分類	観光戦略(中間案)に対する意見	仙台市の考え方
105	重点プロジェクト1	ナイトコンテンツ事業は、青葉山も良いが食事をしてすぐに行ける街中にあった方がインバウンドの方は行きやすいと思いますので、是非検討して頂きたいです。	青葉山エリアだけでなく、中心部エリアも含めて、ナイトコンテンツの創出や長期開催に取り組み、国内外からの来訪者の誘客促進や宿泊の増加につなげてまいります。
112	重点プロジェクト1	スケートは、国際アイススケートトレーニングセンターを設けて、世界のスケート虎の穴になって欲しい。もちろん、センター長は羽生弓弦さん、副センター長荒川静香さん、その他仙台ゆかりのオリンピックに協力してもらって、トレーニング模様も有料で公開すれば外貨稼げ、インバウンド来てくれませんか	本市は日本フィギュアスケート発祥の地であり、現在、国際規格に対応した通年利用できるアイススケートリンクの整備が進められております。いただいたご意見については、今後の観光施策の参考にさせていただきます。
113	重点プロジェクト1	羽生結弦さんの銅像を作って欲しいです。	オリンピックで金メダルを獲得された功績を称え、地下鉄東西線国際センター駅にモニュメントを2基設置するとともに、羽生さんには、本市の観光PRのため、仙台観光アンバサダーに就任いただいているところです。いただいたご意見については、今後の観光施策の参考にさせていただきます。
114	重点プロジェクト1	アニメ利活用に関して、ハイキュー!!が3年、呪術廻戦も3年程度で完結する作品です。そのため、現在の作品の利活用を版權理解の上で進めていくことは重要ですが、次の世代の作品を作る作家支援も必要ではないでしょうか。文化面の原作者支援になる取り組みだけではなく、アニメーションスタジオ誘致など経済部との連携が確実に実行頂かないと、作品の旬が過ぎれば、徐々に集客力は下がります。市庁舎内の連携でぜひ良い方向性へもって行って頂きたいですが、庁舎内連携はいかがでしょうか。また、中国富裕層1千万人は魯迅を知っている、仙台の関係知らない中国人は多いようです。この1%を誘致しても10万人です。ぜひご検討を!!	仙台ゆかりの漫画・アニメは、本市のプロモーションにもつながる可能性があることから、引き続き仙台ゆかりの作家や作品について情報収集を行うとともに、アニメーションスタジオの誘致については関係局と情報共有を図ってまいります。また、本市の中国への情報発信について、海外向け観光情報ホームページ「DISCOVER SENDAI」やSNSの活用を通じたプロモーションの強化を行ってまいります。
115	重点プロジェクト1	仙台駅前が廃墟ビルが多く中心部の魅力が少ないと思います。数年前にエデン前で学生さん達が頑張った様なイベント(キャンプだったりランウェイだったり)など、駅前を盛り上げる予定はありますか?イベントを開催しても騒音問題で中々出来なかったり中止になったり等がありますが、仙台市から後押しして頂くなどはありませんか?ハロウィンの時も各地盛り上がりつつあるのに仙台市の過度な呼び掛けで中々盛り上がりがない街になってるように思えますが…。	駅前エリアの開発は本市の重要な課題だと認識しており、当該エリアの魅力向上に資する取り組みが企画される場合には、庁内横断的に後押しができないか検討を進めてまいります。
116	重点プロジェクト1	連泊などを広げるためには、周辺自治体の観光地域との連携なども、より強化が必要になると考えるが、イベント規模なども、仙台市予算と、他地域イベントでは、かなり差があると感じる。例えば、ナイトイベントなども、他自治体地域のイベントと連携し、広域での周遊滞在を強化する様な取り組みは検討されてますでしょうか?	連泊を促進するためには、広域的な連携が不可欠であると考えており、重点プロジェクト3「Another JAPAN, SENDAI, TOHOKU」の発信のもと、関係市町村とともに国内外から東北への誘客を促進するのみならず、仙台を拠点に、県内や東北の観光地を巡る旅行スタイルを確立させるなど、多様な連携を推進してまいりたいと考えております。
117	重点プロジェクト1	ハイキューは絶対活用したほうがいい!	本市では令和5年度より『ハイキュー!!』のキャラクターを仙台観光特使に委嘱し、記念モニュメントを設置しており、今後も、関係事業者と連携のもと、来訪者が楽しめる企画やコンテンツの検討を進めてまいります。
118	重点プロジェクト1	観光コンテンツの造成としてハイキュー!!のパネルモニュメントが設置されました。カメイアリーナ見学者の受付をアリーナ担当者が担っています。観光課が連携して問い合わせの補助をしないと、アリーナ担当者の本来業務の負荷が高いため、縦割りではなく横のつながりをもつことが可能であれば…。見学会一日160人前後、そのうち外国人2~3割ほど(全く日本語を話せない人が増えている)。軽米町との交流を持って、盛り上げられると良い(軽米町への来訪者が多い)。見学者にSNS発信や感想等を促している。	カメイアリーナ仙台の運営者や関係課とは、『ハイキュー!!』関連の取り組みなどを実施するにあたり、意見交換を行っており、今後も職員の負担なども考慮しながら、企画を進めてまいります。いただいたご意見は、今後の観光施策の参考にさせていただきます。
148	重点プロジェクト2	仙台市にスキー場があるのに、仙台市以外のひとが知らないのではないのでしょうか。	本市には中心部より車で約40分とアクセスしやすい泉ヶ岳にスキー場があります。重点プロジェクト2「Sendai Urban Resortの推進」に掲げる、泉ヶ岳をはじめとした西部エリアの自然の魅力をさらに高めるため、アクティビティを体験できるアドベンチャーツーリズムを推進し、新たな魅力を創出し域外に発信することで、国内外からの誘客を促進してまいります。
149	重点プロジェクト2	温泉地の整備を掲げているが、どういう温泉地にしていきたいというイメージがあるのか教えていただきたい	温泉地の様々な資源をつなぎ合わせることで面的に魅力をさらに高めることができると考えており、それぞれのエリアの二次交通の充実を図った上で、自然資源を活かしたフックとなるコンテンツづくりやソフト面の取り組みなど、自然や四季を感じながら温泉を楽しむための環境整備を進めていきたいと考えております。
150	重点プロジェクト2	八木山エリアに住んでいますが、標高日本1の地下鉄駅があったり、蒲生には日本1低い山がありますが、これら含めてアピールが足りません。	標高日本一の地下鉄駅である八木山動物公園駅や、日本一標高が低い日和山などは、本市が誇る仙台「ならでは」の観光資源だと考えております。そうした仙台「ならでは」の資源を、観光情報サイト「せんだい旅日和」などの活用を通して、より多くの方へ情報が届くように発信力を強化してまいります。



No.	分類	観光戦略(中間案)に対する意見	仙台市の考え方
159	重点プロジェクト3	小規模宿泊事業者です。旅館さんやホテルさんとは違いお客様との距離感が近くお客様の声により近く感じます。日本人53%海外からのお客様47%仙台市でお迎えしております。海外からのお客様の印象は、日本人のお客様と比べて、仙台の魅力の感じ方が違う様に感じます。新しく作りあげたものよりも、例えば田代島や文化横丁といった他の世界の何処にも無いようなオリジナリティに魅力を多く感じてる様に感じます。その反面ポケモンゴールのイベント反響が凄かったです。海外のお客様を呼び込むイベントは何かお考えでしょうか。	ご意見のとおり、海外の方の視線を認識した上で、観光コンテンツの創出やプロモーションに取り組むことは重要であると考えており、海外向けの観光情報サイトのアクセス状況や実際に本市を訪れた外国人の方へのヒアリングを通してニーズなどを把握しているところです。昨年本市で開催した「Pokémon GO Fest 2024:仙台」においては、多くの方にご参加いただいております。継続的に大規模イベントの誘致や漫画・アニメの活用などに取り組んでまいりたいと考えております。
164	重点プロジェクト3	海外からの学生も留学を機に多く来る都市だと思えます。一度住んだ外国の方がきっかけとなって、「また来てもらう」ような取り組みができるとういことかと思えます。	「学都」と呼ばれる本市には、世界最先端の研究で知られる東北大学をはじめとした数多くの高等教育機関が集積し、市内に住む外国人住民は留学生が最多となっています。重点プロジェクト3「Another JAPAN, SENDAI, TOHOKU」の発信に掲げるように、留学生や移住者への情報発信を強化し、VFRと呼ばれる友人・家族訪問を促進するほか、一度住んだことがある外国人が、誇りや愛着を持ち、再度本市を訪れていただけるような魅力のある環境づくりにも力を入れてまいります。
168	重点プロジェクト3	インバウンド増加は観光地整備も大事ですが、時間がかかりすぎインバウンドに乗遅れます。まずはきて頂くための空港及び観光地のライフライン整備により、現状の観光地使ったり整備が必要と思えますがいかがでしょうか？	インバウンドのさらなる増加に向けては、将来的な観光地整備とともに、既存の観光コンテンツのさらなる掘り起こしやPRの強化、外国人が快適に観光を楽しめる環境の整備が重要と認識しております。引き続き、様々な取り組みを推進しインバウンドの増加に努めてまいります。
169	重点プロジェクト3	宿泊者数を上積みするためには、インバウンドの獲得は重要だと思えます。戦略では「Another JAPAN, SENDAI」の発信というプロジェクト名になっていますが、そのような名称にした意図を教えてください。	重点プロジェクト3「Another JAPAN, SENDAI, TOHOKU」の発信は、国内外の方々に東京・大阪・京都などのいわゆるゴールデンルートとは異なる、食文化や精神文化、自然など、地域性あふれる魅力を体感していただきたいという思いを込めて名付けたものであり、仙台・東北の資源を十分に活かしながら、誘客に取り組んでまいりたいと考えております。
183	重点プロジェクト4	仙台は支店経済と言われ、人口の30%が支店経済に従事する人だと仮定する。その方の地元、出身地からの誘客策、特典をつけるとか、アイデアがあっても良い気がします。	重点プロジェクト4「+(プラス)観光の推進」につきましては、観光客だけではなく、ビジネスによる来訪も多い、ご指摘の支店経済としての本市の特性も踏まえたプロジェクトでございます。いただいたご意見は、今後の観光振興の参考にさせていただきます。
188	重点プロジェクト4	首都圏の小中高への就学旅行は北は「日光」泊まりです。どうやって北へ向けるのか。要PR。インバウンドの方々への災害時(地震、津波etc)の対応を要検討。	教育旅行の誘致は、平日の来訪など誘客促進に重要であると考えております。本市には、東日本大震災の経験から防災や減災を学ぶことができる様々な資源があり、それらを活かしながら、東北一体の魅力を通じて教育旅行の誘致を推進してまいります。また、災害時の対応について、仙台駅における帰宅困難者を想定した訓練の実施や観光情報サイトでの情報発信などを想定しているところですが、ご意見を参考にさせていただきますながら、さらに対策を検討してまいります。
194	重点プロジェクト5	宿泊施設を増やすことは、将来の大震災時における臨時避難場所や復興支援者に対する宿泊施設の提供などに活用されるものと思えます。観光だけでなく、災害時の機能としての宿泊施設の在り方を、考えていただければと思えます。	宿泊施設は東日本大震災の際にも、被災者の受け入れ先として大変協力していただきました。持続可能な観光地域づくりのためには、観光危機管理マニュアルの発信やBCP策定支援などを通して、観光関連事業者の強靱性の向上を図るとともに、関係局と連携を図りながら、来訪者の安全安心の確保に努めてまいりたいと考えております。
196	重点プロジェクト5	都市に近く自然豊かな西部エリアでアドベンチャーツーリズムを始めとした自然や景観を楽しめるコンテンツやステイ環境を整備・提供して行きたいと考えております。観光戦略に沿った一定の条件下での規制の緩和や財務面へのご支援をご検討をお願いします。	アドベンチャーツーリズムは、重点プロジェクト2「Sendai Urban Resortの推進」に位置付けている通り、滞在時間を充実させる重要なコンテンツであると考えております。また、観光施策を推進していく上で、事業者の方々が積極的に事業に取り組みやすい環境を整えることは重要な視点であり、規制の緩和について庁内横断的に検討を進めるとともに、財政面については、観光関連事業者の皆様のご意見を伺いながら、毎年度予算編成の中で具体の支援策を検討してまいります。
198	重点プロジェクト5	国が示すようなDMOが仙台にあればよいのと思っておりますが、現在は物足りません。DMOの強化とは、具体的には何でしょうか。	令和6年9月に登録DMOに登録された(公財)仙台観光国際協会について、民間企業のノウハウも取り入れ、観光の専門人材の育成を図るなど、組織体制の強化を図りながら、体験プログラムの磨き上げや旅行商品の造成などにさらに力を入れて取り組んでまいりたいと考えております。
201	重点プロジェクト5	ムスリムの方が、礼拝する場所を、ネットで探せるマップを、仙台市でウェブ公表してはいかがでしょうか。各大学や民間施設を統合して、対外公表することは行政としてはよい試みかと存じます。	ダイバーシティまちづくりの視点のもと、だれもが快適に観光することができる受入環境の整備は重要だと考えており、今後の観光施策の参考にさせていただきます。
202	重点プロジェクト5	MICE事業者です。観光との様々な連携が必須と考えます。DMOの強化ではどのような具体的な目標や施策をお考えでしょうか？	令和6年9月に登録DMOに登録された(公財)仙台観光国際協会について、民間企業のノウハウも取り入れ、観光の専門人材の育成を図るなど、組織体制の強化を図りながら、体験プログラムの磨き上げや旅行商品の造成などにさらに力を入れて取り組んでまいりたいと考えております。

No.	分類	観光戦略(中間案)に対する意見	仙台市の考え方
220	宿泊税の活用	宿泊税の活用について、具体的な用途が重要。	宿泊税は、「旅行者を呼び込むための観光コンテンツの造成」、「宿泊・連泊を促進するための誘客強化」、「観光の基盤である宿泊事業者への支援」の3つの視点に基づいて活用していくこととしております。例えば、仙台ゆかりの漫画・アニメの活用や、宿泊につながるナイトイベントの長期開催・常設化、観光の基盤である宿泊事業者支援など、毎年度の予算編成において具体の活用事業をお示するとともに、用途やその効果については、宿泊業をはじめとする観光関連事業者の皆様にもご参画いただく官民連携の協議体を設置し、そこでいただいたご意見を踏まえて、次年度以降の施策に反映させていくなど、透明性のある制度の運用に努めてまいります。
226	宿泊税の活用	農業は、収入保障が制度化されているが、観光業は不安定。宿泊税で、収入保障の仕組みがあると、観光業者安心するのではないか？	宿泊・観光事業者の経営環境の向上にも貢献できるよう、具体の施策を検討してまいります。いただいたご意見は、今後の観光施策の推進にあたり参考にさせていただきます。
230	宿泊税の活用	観光振興やまちづくりにおいては、エリマネ組織、DMO等には優秀な人材が必要不可欠だと思います。観光戦略の宿泊税の用途に、(優秀な)人材確保と育成を追記していただき、市が主導となって全市的に優秀な人材を確保していくべきだと思います。	いただいたご意見のとおり、観光振興において、DMO等の人材確保や育成は重要な視点だと考えており、令和6年9月に登録DMOに登録された(公財)仙台観光国際協会の体制強化を進めていくなど、観光の専門人材の育成強化を図ってまいります。
232	宿泊税の活用	宿泊税を活用した取り組みを示されたが、それらは本当に宿泊税がなければならないものなのか？	人口減少が進む中、地域の持続的発展には、域外から人を呼び込む交流人口の拡大に向けた取り組みを強化する必要があり、ハード・ソフト両面の観光地としてのさらなる魅力向上を図っていくための財源として宿泊税の導入を進めております。訴求力のある新たなコンテンツの創出や受入環境の整備、インバウンドの新規市場開拓など、観光関係の事業者の皆様のご知見やアイデアも活かしながら、観光振興を進めてまいります。
266	推進体制	来年の4月からは、新たな観光戦略のもとスタートすることになると思います。今後も、今回のようなシンポジウムを開催したり、市民や地元の宿泊事業者、観光に関わる多くの方々の意見を聞きながら、全員が一丸となって680万人という目標の達成を目指してほしいです。	令和7年度以降も、市民や観光関連事業者をはじめとした、幅広い関係者の方々と連携しご意見を伺いながら、戦略の進捗や効果等の検証を行い、観光施策を推進してまいります。